



平成 20 年 2 月 22 日

各 位

会社名 株式会社レイ
代表者名 代表取締役社長 分部 日出男
(J A S D A Q ・ コード 4 3 1 7)
問合せ先 取締役 中村 準三
連絡先 コーポレートプランニング室
電話 0 3 - 5 7 9 2 - 7 4 2 8

子会社における特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社の子会社であるデジタルサイト株式会社において下記のとおり、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 2 月期(平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)の業績予想について、平成 19 年 10 月 15 日付当社「平成 20 年 2 月期 中間決算短信」にて発表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

特別損失の計上および業績予想の修正の理由

当社グループは、コンテンツ事業を展開してまいりましたが、DVDコンテンツ販売市場の低迷と公開した洋画の不振により、赤字が高んだことと、他の広告ソリューション事業(セールスプロモーション企画制作、TVCM制作)やテクニカルソリューション事業(映像機器レンタル、ポストプロダクション)とのシナジー効果が少ないことから当該事業の抜本的見直しをおこない、事業化中止の案件については全額償却、他の案件についても販売計画を精査し、回収見込みがないと判断したもののについて償却及び引当処理をおこないます。広告ソリューション事業とテクニカルソリューション事業で約 3 億円の当期利益が見込まれるものの、コンテンツ事業では、通常取引による損失額約 2 億 5 千万円に加え、たな卸資産の償却引当等で約 3 億 4 千万円が生じるため、営業損益および経常損益において業績予想の修正となります。また特別損益の部で、3 億 75 百万円の出資金に対する引当を計上するため、当期利益は、当該引当額を加えた業績予想の修正となります。

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 出資金に対する引当金の計上

当社の子会社であるデジタルサイト株式会社が保有するコンテンツ事業の出資金について、出資先の販売計画の達成率および今後の見込みを精査した結果、375 百万円の引当金計上処理をおこないません。

2. 平成20年2月期の連結業績予想の修正について

(1) 平成20年2月期業績予想数値の修正(平成19年3月1日~平成20年2月29日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	9,500	25	30	10
今回修正(B)	9,500	168	160	680
増減額(B-A)	-	193	190	670
増減率	0%	-	-	-

(2) 修正理由

売上高につきましては、ほぼ見込みどおり推移する予定です。しかしながら利益面におきましては、前述のコンテンツ事業の通常取引における損失およびたな卸し資産の償却および引当が高んだ結果、営業損失1億68百万円(前回予想比:1億93百万円の減少)経常損失1億60百万円(前回予想比:1億90百万円の減少)となる見込みです。当期純利益につきましては、前述の出資金に対する引当の計上に加え、不稼動機材に対する減損損失の計上及び税金負担により、当期純損失6億80百万円(前回予想比:6億70百万円の減少)となる見込みです。

(3) 今後の見通しについて

今回、おこなったコンテンツ事業の見直しにより、当社グループは、来期より広告ソリューション事業とテクニカルソリューション事業に経営資源を集中いたします。また、今回の処理は、既に購入した資産の引当および償却であり、財務体質の健全化を狙いとしたものであります。前期と同じく無配が続きますが、来年度より利益を計上し、株皆様のご期待にこたえる所存ですのでよろしくごお願い申し上げます。

(4) ご参考:前期の実績(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	9,861	31	35	28

(注) 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上